

中村施設長の 年中夢求

「中長期計画スタート」
～夢への第一歩～



駒場苑の経営母体である「愛隣会」が今年度、中長期計画に着手しました。8施設、職員数約350人、ご利用者約650人を数える大所帯ですので、考え方や方向性を一致させるところから始めます。そこで中長期計画を立てるための「経営戦略会議」という組織を作り、その下に高齢、障がい、児童、保育、本部、地域の6作業部会を作り、それぞれが夢を描くことから始めることになりました。

高齢作業部会は私が部会長、坂野補佐と海老沼補佐（白寿荘施設長補佐）が副部会長となり、高齢事業所8事業と調理部門のそれぞれの主任（準ずる職員）計12名が部会員として参集しております。現在各事業所の夢、希望、課題等を出して頂き、それを中長期で検討するもの、今すぐに行うもの、全体で協議するもの、事業所毎に協議するもの等に仕分けをする作業にかかっています。

今出ているものでは

- ・イベント共同開催、企画・業務、ケアの取り組み報告会
- ・育児所の設置、産休後の職場復帰支援・適材適所の人事配置
- ・週40時間、完全週休二日制導入
- ・人事、現行事業の見直し、新規事業の取り組み等の為の組織改正
- ・介護教室、公開講座（クラブ）、食事会、健康相談、介護相談、納涼祭招待等
- ・災害対策の予算の確保、地域連携、訓練実施、他施設との防災連盟、訓練の相互参加等が有ります。

駒場苑では既に中長期計画を立てておりましたが、今後は法人の計画に連動するものに一部修正をしていく予定です。

これらを高齡事業所が連携をとって実現していくこと、そして法人として一体化して取り組んでいくことで職員がイキイキ働き、ご利用者だけでなく、ご家族、地域の皆様にも喜んで頂ける夢のある駒場苑、愛隣会に進化していく事でしょう。

私の役割は、皆さんの思いを受け止めて実現可能な中長期計画を立てる事、それが夢への第一歩だからです。



坂野補佐通信 元気プロジェクト

明けましておめでとうございます!



昨年とは私としては、4月より総合ケアセンター駒場苑の施設長補佐となつてはじめての年となりました。仕事大好きな私のために、中村施設長がたくさんの新しい仕事を一気に下さったおかげで、それまではお風呂介助やフロアのシフトに多少入っていたのですが、その時間が見事になりました(笑)。しかし、そのおかげ!?で、1つの変化がありました。私が特養から一歩離れた事によって、新しい中心が決まり、その中で、日頃の業務や委員会や職員会議等で、頭角を表す職員達が現れました。これは、私がずっと特養に居座っていたは起こらなかった現象でしょう。1人のリーダーが去ると、新しいリーダーが現れる、まさにその言葉通りだと思います。そしてその事が必ずや、駒場苑のさらなる飛躍に繋がるのではないかと、思っています。

補佐業務もマスターしてきましたので、今年度は新生特養駒場苑を補佐として、支え、また積極的に発信していきたい、と思っています! 本年もよろしくお願い致します!



『介護体験教室』開催

2014.11.30

駒場文化推進委員会主催のイベント「街ゼミ」の一環として『介護体験教室 in 駒場苑』が開催され、地域の方や学生さん25名が参加されました。「高齢者体験」では高齢者疑似体験セットを使って高齢者の



気持ちを理解して頂き、「介助体験」ではプロならではの介護方法のコツを伝授しました。参加者には、「駒場苑介護体験教室 初任者研修修了証」をお渡ししました。皆様にご好評頂きましたので、今後も定期的に関わりたいと思います。



外部発信継続中!

駒場苑では積極的に外部発信をしています。昨年はアクティブ福祉 in 東京にて看取りについて、おふるフォーラムにて個浴について、おむつ外し学会にて「7つのゼロ」の取り組みについて発表をしました。駒場苑が目指す「あたり前の生活を大切にする介護」を外部に発信することによって、いつかこれが「介護のあたり前」になる日を目指しています。



2014.12.16 おむつ外し学会